

茨城県立鉾田第二高等学校 グランドデザイン

学校教育目標

- 1 「農業科」、「食品技術科」、「総合学科」の特色を生かし、生徒一人一人の能力を引き出し、個性の伸長を図る教育を行う。
- 2 生徒一人一人の基本的な生活習慣を確立し、自信のある行動をとれる人材を育成する。
- 3 生徒一人一人の進路希望に応じた指導体制を確立し、生徒全員の進路実現を目指す。
- 4 地域と連携して地域社会の信頼に立脚し、将来にわたり学校を充実・発展させる。
- 5 教職員一人一人の業務の効率化を図り、時間外勤務の縮減に努める。

重点目標

- 1 「農業科」、「食品技術科」、「総合学科」の特色を生かした学校づくりの推進
- 2 生徒一人一人の進路希望を実現するための生徒との「関わり」の深化
- 3 基本的な生活習慣と規範意識の定着、及び家庭・関係機関との連携の推進
- 4 特別活動・部活動等をととした人格の育成
- 5 安全・安心な教育環境の整備と自己健康管理能力の育成
- 6 校内における適切な働き方改革の推進

目指す学校像

課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びと、将来を見据えた系統的なキャリア教育を充実させ、一人一人の進路希望の実現を図るとともに、地域社会との連携を推進し、地域振興に貢献するリーダーとなる人材を育成する、地域に信頼される学校。

さまざまな 施策

生徒への援助

- ・教育相談の充実、
スクールカウンセラー、
スクールソーシャルワーカーの活用
- ・生徒や保護者との
面談の充実

開かれた学校

- ・中学3年生対象に
学校説明会を開催
- ・ホームページによる
情報公開
- ・学校公開を開催

何ができるようになるのか

- ・自ら学んだことを説明、解説できるようになる。
- ・自らの学習を記録できるようになる
(eポートフォリオ)

何が身についたか

- ・確かな学力 ・自ら学ぶ力と姿勢
- ・自信 ・折れない心 ・立ち直る力
- ・自己コントロール ・自己肯定感

生徒への 働きかけ

何を学ぶか（特色ある授業・講座）

- ・農業科、食品技術科、総合学科の特色を活かした授業を展開→
地域の農業と福祉 産業社会と人間 等

どのように学ぶか

- ・アクティブラーニング等主体的な活動
- ・ICTを活用した探究活動
- ・放課後や長期休業中の課外学習の実施
- ・有識者の講演、演習

地域との連携

- ・地域の方々をゲストティーチャーとして招聘
- ・鉾田市と連携、市議会傍聴、災害時におけるボランティア実施、各種イベント参加
- ・インターシップの実施、デュアルシステムの計画
- ・鉾田二高のお店（定期市）の実施

安心・安全

- ・鉾田警察署、市福祉課、児童相談所との連携強化
- ・マナーアップ活動の重視

現状分析

- ・個々の進路希望に応じたモデルプランや各科、各系列での学びを充実させ特色をもたせたカリキュラムを用意している。また、生徒一人一人の進路実現に対応するため、学力向上を図りキャリア教育を充実していく必要がある。
- ・進学者の中には一般入試まで努力し複数校の合格を手にした生徒たちがいた一方、未定者もいることが課題である。面談の充実などを図り、進路意識を高め、「総合学科」の特徴である様々な進路希望に対応できるように指導体制を充実させたい。
- ・「遅刻ゼロ運動」を全校体制で実施してきた。遅刻者数の大きな変化はないが、段階的な指導により、生徒指導部指導の対象者は少数となっている。服装・頭髮の著しい乱れは少なくなっている。規則正しい生活習慣の定着、規範意識を高めるためにも遅刻ゼロ運動を今年度も継続する。